

## 事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月31日
2次評価日（課長等）	30年3月31日

1 事業名	林道整備事業			コード	24214	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	農林水産課	作成者	柄澤 隆司
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	農林漁業の振興	
		予算科目	林道整備事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国庫補助	なし	

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	民有林に対する林業経営基盤の整備並びに林業振興等の主たる施設の改良及び整備		
目的	対象者	市民及び林業経営者	
	意図	林業振興	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由		
林道は公共施設として森林造成に不可欠であり、利用により痛み等が発生するため、計画的に改良・整備を行なう必要がある。			

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画			
予定全体事業費	128,600,000	円	事業期間	H20～H28
27年度まで	舗装工 一式			
28年度	舗装工 一式			
29年度	舗装工 一式			
30年度以降	舗装工 一式			

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況		
27年度まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道高尾山線 舗装工（国庫補助金）</li> <li>林道常現寺線 舗装工（単独）</li> <li>林道橋梁調査業務（国庫補助金）</li> </ul>		
28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道高尾山線 舗装工（国庫補助金）</li> <li>林道常現寺線 舗装工（単独）</li> </ul>		
29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>林道常現寺線 舗装工（単独）</li> </ul>		
前年度の課題への対応	橋梁改修については、平成30年度より国庫補助（農山漁村地域整備交付金事業）を活用し3カ年で架替工事を実施する。		

## 8 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	183,110,386	33,123,600	2,052,000	52,760,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	183,110,386	33,123,600	2,052,000	52,760,000
* 臨時的経費の説明				
② 人件費		2,000,000	880,000	880,000
正規職員の人数(人)		0.25	0.11	0.11
③ 合計コスト(①+②)	183,110,386	35,123,600	2,932,000	53,640,000
前年度比			8.3%	1829.5%
財源				
一般財源	183,110,386	7,564,600	1,632,000	4,840,000
内訳				
特定財源		27,559,000	1,300,000	48,800,000
* 特定財源の説明	林道整備事業債、農村漁村地域整備交付金			

## ●事業の評価 (CHECK)

### 9 事業の進捗状況

区分	27年度まで(累計)	28年度	29年度	30年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	142.4%	168.1%	169.7%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明	林道は天候、交通量等によっても破損するため、進捗率はだせない。			

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) ・ゲリラ豪雨が多発してきており、林道の荒れが毎年ひどくなってきている。
	今後	(30年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) ・利用者の多い林道においては、順次舗装整備を行なう。

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、30年度以降に課題になること) ・平成30年度より観音橋の架け替えを実施するに当たり、国庫補助の内示割れに伴う事業の遅れの可能性がある。
課題への対応策	(上記の課題をふまえて30年度に実施する、具体的な対応方法) ・県と協議しながら、強く要望をしていく。

## ●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	C
-----------	--------	---	---